

令和4年第1回定例
夕張市議会会議録
令和4年3月16日(水曜日)
午前10時30分開議

◎議事日程

第1 議案第1号ないし議案第7号、議案第13号
ないし議案第15号及び市政執行方針、教育
行政執行方針に対する大綱質問

◎出席議員(8名)

君島孝夫君
小林尚文君
大山修二君
本田靖人君
千葉勝君
熊谷桂子君
高間澄子君
今川和哉君

◎欠席議員(0名)

午前10時30分開議

●議長 大山修二君 これより、令和4年第1回
定例夕張市議会第2日目の会議を開きます。

●議長 大山修二君 本日の出席議員は8名全員
であります。

●議長 大山修二君 本日の会議録署名議員は、
会議規則第125条の規定により

今川議員

君島議員

を指名いたします。

●議長 大山修二君 日程に入ります前に、事務
局長から諸般の報告をいたします。

●事務局長 佐藤浩一君 報告いたします。

本定例市議会に出席を求めた説明員の一覧につき
ましては、さきに報告のとおりであります。

以上で報告を終わります。

「別紙」

市長 厚谷 司 君

教育長 小林 広明 君

選挙管理委員会委員長

柳 沼 伸 幸 君

農業委員会会長 後藤 敏一 君

監査委員 西田 洋二 君

◎市長の委嘱を受けて出席した者の職・氏名

副市長 本間 和彦 君

総務課長 芝木 誠二 君

地域振興課長 木村 友哉 君

財政課長 押野見 正浩 君

税務課長 池下 充 君

建設課長 鈴木 茂徳 君

土木水道課長 阿部 充雅 君

上下水道担当課長

三浦 護 君

市民課長 佐藤 学 君

保健福祉課長 平塚 浩一 君

生活福祉課長兼福祉事務所長

堀 靖樹 君

消防長 増井 佳紀 君

消防次長 石黒 友幹 君

◎教育委員会教育長の委嘱を受けて出席した者の
職・氏名

教育課長 寺江 和俊 君

◎選挙管理委員会委員長の委嘱を受けて出席した者
の職・氏名

事務局長 芝木 誠二 君

◎農業委員会会長の委嘱を受けて出席した者の職・
氏名

事務局長 福士 泰史 君

◎監査委員の委嘱を受けて出席した者の職・氏名

事務局長 佐藤 浩一 君

◎本議会の書記の職・氏名

事務局長	佐藤浩一君
書記	山下倫弘君
書記	相澤由貴君

●議長 大山修二君 本日の日程は、お手元に配付しているプリントのとおりであります。

それでは、直ちに日程に従って会議を進めます。

●議長 大山修二君 日程第1、議案第1号ないし議案第7号、議案第13号ないし議案第15号、以上10議案一括議題といたします。

本10議案につきましては、さきに市長から令和4年度行政執行方針、教育長から令和4年度教育行政執行方針の説明があり、さらに副市長から各議案の提案説明がなされておりますので、これより大綱質問を行います。

質問の順番は、今川議員、千葉議員、本田議員、小林議員、君島議員であります。

それでは、今川議員の質問を許します。

今川議員。

●今川和哉君（登壇） 今川和哉です。

私からは、市長の市政執行方針における住み続けられるまちづくりの推進について、最初に生活利便性の高い拠点の形成と居住の充実として、コンパクトシティの推進を中心に質問し、次に施策を着実に進める体制の構築から、特に市役所本庁舎整備の件、この2点について、全体で7点を質問いたします。

まず、生活利便性の高い拠点の形成と居住の充実についての1点目、コンパクトシティ推進における事業についてです。市長はこのたびの市政執行方針において、コンパクトシティを推進する上で地域の特性等を生かした魅力的な環境づくりと暮らしを支える環境づくりをどのように行っていくかが非常に重要だと考えていると述べられております。当市で進められているコンパクトシティとは一定の機能が集まっている地区を拠点として、都市機能や居住を集約し、さらに地区拠点ごとを公共交通で結び、利

便性を高めることで空間的に小さいながらも都市機能が充実している地域を創り出していくことが最終的な目標であると認識しております。そのためには、拠点地区をどうしていくのかという目的をはっきりさせ、それに基づいた誘導策を行っていかねばなりません。

また、人口減少が進み、市外への移転という選択肢を取る市民も少なくない状況の中、こういった施策は遅れば遅れるほど、人口の集約化が難しくなるものです。市長の任期最終年度となる令和4年度におかれましても、これら事業を今まで以上に進めていただきたいと思いますので、コンパクトシティの推進として、既に事業化されている主要な事業の進捗状況と現状における課題の認識について、お伺いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 ただいまの今川議員のコンパクトシティの推進に関するご質問にお答えいたします。

コンパクトシティの推進につきましては、本市を取り巻く環境といたしまして、広域分散化した市街地形成、人口減少の加速による地区人口の低密度化、多大に保有する公共施設の大半が老朽化していること、土砂災害警戒区域が多数指定されていることなどから、安全安心な暮らしへの不安、生活サービスの低下、地域経済の衰退などの課題を抱えているところでございまして、これらの課題に対応するため、令和2年度にまちづくりマスタープランの改訂や立地適正化計画を策定し、持続可能なコンパクトなまちづくりを目指しているところでございます。議員ご承知のとおり、都市機能や居住環境が充実した生活利便性の高い拠点を形成するために、清水沢地区におきましては、拠点複合施設「りすた」、認定こども園「ゆうばり丘の上こども園」、若菜地区では令和5年度夏の供用開始を目指し、市立診療所、介護医療院の整備を進めるなど、都市拠点形成の事業を行ってきているところでございます。

また、居住につきましても、市営住宅再編による

入居の効率化や補助による各地での民間賃貸住宅建設促進を行い、人口抑制に一定程度の効果があったものでございます。

その上で、令和3年度につきましては、まちづくりマスタープランで位置づけをした拠点地区に市民が安心して夕張に暮らし続けられるよう、市民参画による意見交換を実施し、地区構想の策定を進めて参りました。市民検討で得ました意見や庁内議論の内容を取りまとめまして、具体的なアクションプランを検討の後、拠点形成に向けた取組を進めて参りたいと考えております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 今川議員、再質問ありませんか。

今川議員。

●今川和哉君 では、次の質問に移ります。

2点目、居住の充実について、質問いたします。執行方針において、居住の充実に向けては、住宅取得等の施策を継続、強化していくとともに、住み替えや移転、誘導に対する新たな住宅需要の掘り起こしと転入者増加に向けた住宅施策を併せて進め、市内定住化と人口減少の抑制に取り組んでいく旨が述べられております。

しかし、当市の人口減少の進み方、特に社会減の割合は多く、急速に人口の減少が続いております。夕張市内で住み替えや移転をしていただくというところは、市民や転入者が引っ越し先を選ぶ際に、もっと利便性の高い市外のほかの地域が競争相手となるものです。その中で、市内での居住を選んでいただくため、しっかりとした政策メニューを策定し、広く市内外に提示していく必要があると考えますが、居住に関する今までの施策の効果と、今後取り組んでいこうとしている内容について、お伺いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 今川議員の居住の充実に関するご質問にお答えいたします。

居住の充実につきましては、先ほども述べさせて

いただきましたとおり、清水沢地区での市営住宅再編事業による老朽化住宅の建て替え事業、民間賃貸住宅建設促進に向けた補助事業の実施、それから戸建て住宅の取得などに関する補助事業の実施など、これらの事業で一定の効果を上げていると考えております。

さらなる居住の充実に向けてという点でございますが、市民の方を対象にアンケート調査を実施してございます。市内での居留意向でありますとか、住宅ニーズ等の把握に努めて参りました。

その結果でございますが、世帯構成による様々なニーズが把握されましたことから、これまでに実施している施策のほか、拠点形成の取組と併せた住環境の整備と生活環境に応じた居住を提供する施策を展開する必要があります。そのように考えております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 今川議員、再質問ありませんか。

今川議員。

●今川和哉君 答弁において、市営住宅の再編や建設の促進、戸建ての補助等を行ったということでしたが、これら答弁にあった施策の効果は想定どおり満足できるものであったかどうか。それとも、課題があり、今後さらなる発展が必要かという点で再質問したいと思っておりますので、これら居住政策の評価について、この点、お願いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 ただいまの今川議員の再質問にお答えいたします。

これまで実施をしてきた居住に関する施策に対する評価ということでございますけれども、先ほど述べました施策の内容につきましては、一定の効果を上げているというふうには、先ほども答弁させていただいたところでございますが、この事業の目的の成果は上がっていると、そのように判断をしております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 今川議員、再質問ありませんか。

んか。

今川議員。

●今川和哉君 施策の効果は上がっているということでしたが、これら答弁にあったものは昨年度以前より引き続いて行っている事業かと思えます。やはり、現状ではそれほど市内での移転や転入がすごい量で進んでいるものではなく、また肝心の誘導政策という部分では、「りすた」の建築以降、新たなものが見受けられないというように、私は感じています。この昨年度以降からの事業ではなく、この新たな事業が必要かどうかという視点について、今年度の施策にて現状の課題認識がどのように反映されているのかお聞きいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 今川議員の再質問にお答えいたします。

1点目の質問のときにも触れさせていただいたところでございますが、令和3年度まちづくりマスタープランで位置づけをした拠点地区に関する市民参画による意見交換を行ったということについては答弁させていただいたところでございます。その中で、地区構想の策定を進めてきたということでございますが、やはり議員のほうからのご質問にもございましたように、この地区構想の策定に基づいて、早期に具体的なアクションプランの検討をしていく。そのことがやはり将来像をお示しするために必要だという認識でございますので、そのアクションプラン検討の際に、議員のほうからご意見もいただきました今後の取り組み方についても、十分反映させていただきたいと考えております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 今川議員、再質問ありませんか。

今川議員。

●今川和哉君 地区構想に基づいてアクションプランを策定し、それに基づいて検討するということが、夕張市に引き続き市民に住んでもらうためには、単なる集約ではなく、拠点地区に何らかの強

みやインセンティブがさらに必要ではないかと思っています。市内で住み替えや転入をしていただくためには、市外に住む以上の強みがなくてはなりません。これについては、今後の検討課題と併せて私の要望をさせていただきまして、次の質問に入りたいと思います。

では、3点目として、生活利便性の高い拠点のための商業機能について、質問いたします。

生活利便性の高い拠点を形成するためには、居住の充実と併せて、公共的な機能と商業的な機能が欠かせないものであり、拠点地区に商店や店舗といった商業的な機能が進出しやすい環境を整え、政策として積極的に誘致していく必要があると思うところです。コンパクトシティとは、集約によるインフラ維持費の削減だけではなく、ある程度の人口密度を地区内に保つことでスーパー、カフェ、パン屋、学校、病院のような施設が身近な場所に存続しやすくなるというような効果もあり、商業者が地区内の商圏人口を見込んでの新規出店をする可能性も高まります。

また、地域のにぎわいのためには商店のような集客施設の存在は不可欠です。しかし、人口減少による市内購買力の低下等もあり、近年は、廃業する市内店舗も多い状況である一方、拠点複合施設「りすた」の供用開始後も周辺で新規開業や店舗の移転、民間施設の建築といった動きは見られません。市としてはただ待っているだけではなく、計画的かつ積極的な誘致策が必要ではないかと考えるところです。こういった点について、市長の考えを伺います。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 ただいまの今川議員の生活利便性の高い拠点形成に関するご質問にお答えをいたします。

今川議員ご指摘のとおり、生活利便性の高い拠点を形成するためには、居住の充実、公共的な機能、商業的な機能が必要と考えております。その上で、各地区の拠点形成に係る市民検討では、市が公共施設を多大に保有し、その大半が老朽化を迎えている

という現実を踏まえ、公共施設の再編により維持管理費等のコスト削減を図りながら、都市機能を集積させること、それから商業的な機能を誘導、誘致していくことが重要ということを再認識し、各拠点地区の具体的な拠点像について議論がなされたところでございます。拠点形成に係る商業等の立地促進に向けましては、都市機能がある公共施設の再編の取組と同時に進め、商業的な機能が進出しやすい環境をつくることが重要と考えております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 今川議員、再質問ありませんか。

今川議員。

●今川和哉君 再質問ではございませんが、公共施設の再編と併せるということで、次の質問にもつながるのかなと思います。

では、2件目の施策を着実に進める体制の構築の質問に移ります。

まず、こちらの1点目、市役所本庁舎の危険度の認識について、質問いたします。

現在のこの庁舎は、執行方針でも述べられているように昭和53年に建設されて以来、44年が経過し、その間大きな耐震改修等は行われておりません。これについて、耐震性能が基準値を大きく下回り、大変危険であるほか、施設や設備の老朽化が著しいとのことですが、私も職員や利用する市民の安全性を担保し、緊急時の市役所機能を維持するためにも早急な建て替えの検討が必要だと感じているところです。市長におかれましては、現在の庁舎の危険度の度合いと建て替えの緊急性をどのように判断しているのか、伺いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 今川議員の現庁舎の危険度合いと緊急性に関するご質問にお答えをいたします。

現庁舎につきましては、昭和53年に竣工していることから旧耐震基準で建てられた建物でございまして、地震の脅威に対して安全に使用できるかどうかを見極めるために、平成25年度に行った耐震診断の

結果、震度6強以上の大規模地震の発生に対する安全性の評価でございますが、倒壊、崩壊の危険度が高いとされたところでございます。平成23年3月の東日本大震災や平成28年4月の熊本地震などで自治体庁舎が甚大な被害に見舞われ、平成30年9月にはこの北海道においても最大震度7を観測する北海道胆振東部地震が発生し、本庁舎も天井が落下するなど被災しております。

したがって、庁舎整備における喫緊の課題でございますが、議員からもお話がございました市民の生命と財産を守る拠点となる庁舎、この耐震化を図ることだと認識しておりまして、市政執行方針で述べた建て替えについては、耐震化及び老朽化対策を同時に満たすものとして述べさせていただいたところでございます。令和4年度につきましては、市政懇談会を開き、市民の皆様のご意見をいただいた上で、外部検討委員会を設置し、整備手法についてご審議をいただくとともに、スピード感を持って進めていきたいと考えております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 今川議員、再質問ありませんか。

今川議員。

●今川和哉君 ただいまの答弁においては、この庁舎への危険度として震度6強で倒壊の危険性が高い旨の調査結果が出ており、それを認識しているということでしたが、災害や地震というものはいつ来るかは分かりません。仮に、建築におけるスケジュールを財政再生計画の期間にとらわれていては、長く危険を放置することになりかねず、市庁舎の問題については、一刻も早く検討と設計を進めるべきと考えますが、市庁舎については再生計画の期間にかかわらず、計画を進めていく方向であると考えてよいものか、質問いたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 今川議員の再質問についてお答えいたします。

財政再生団体である本市におきましては、耐震性

能不足や老朽化といった課題を抱える庁舎につきまして、整備の必要性については認識をしていたものの、限られた財源の中、市民生活に資するものを最優先にしてきたところでございます。

しかしながら、北海道胆振東部地震での経験を契機に庁内で再検討を行ってきた上で、市民の生命と財産を守る庁舎の整備をこれ以上先送りできないものと結論づけたところでございます。

今後は、庁舎整備に関する必要性、緊急性を国、北海道にご理解いただくとともに、できるだけ早く整備方針をまとめていきたいと考えております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 今川議員、再質問ありませんか。

今川議員。

●今川和哉君 おっしゃるように、限られた財源の中で行っているということは理解しておりますが、再生計画の終了後でなければ、着手ができないというものではあってはならないと私は思っております。速やかな検討と設計建設の着手ができるよう、準備を進めていただきたいと思います。

では、続いて2点目、市役所庁舎建設の立地について、質問いたします。

執行方針においては、庁舎の整備については、清水沢地区が望ましく、この考えは夕張市マスタープランなど、本市のまちづくりに関する各種計画とも齟齬がないと述べられております。

しかし、一方で、市内の拠点地区と位置づけられている地域として、JR駅や道の駅との連携を考えるなら紅葉山地区であったり、診療所との連携を考えるなら若菜地区という考えも、庁舎を整備する地域としてはあるのではないかなと思うところですが、清水沢地区が望ましいとしたこと、この地区での既存施設との連携の観点も含めて、市長はどのように考えているのか伺います。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 今川議員の既存施設との連携に関するご質問にお答えいたします。

夕張市まちづくりマスタープランでは、清水沢地区を、今後もさらなる都市機能の集積を推進し、夕張の都市拠点として、さらに強化し、暮らしやすい生活環境を形成する地区と位置づけておきまして、この地区に多くの市民が利用する庁舎を加えることは生活利便性の高い拠点を形成する上でもその果たす役割は大きいと考えております。

また、清水沢地区は、市内で人口が最も多い地区でございます。各地区からアクセスしやすい市の中心部に位置しておりますほか、小学校、中学校、高等学校の教育関連施設をはじめ、拠点複合施設「りすた」や消防本部などの公共施設、福祉施設や商業施設など多くの都市機能が集積しており、物理的距離が近い多くの施設があることも含め、庁舎を整備する地区として最適であると考えております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 今川議員、再質問ありませんか。

今川議員。

●今川和哉君 再質問ではございませんが、ほかの地区との接続という視点も欠かせないかと思しますので、今後の用地の選定や供用においてはこういった点についてもお願いいたします。

次の質問に移りまして、3点目。

庁舎建て替えに関する財源について質問いたします。庁舎建て替えに必要な財源確保について基金を積み立てていく等、現在考えている方法があるか、伺います。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 今川議員の庁舎建て替えに必要な財源確保策についてのご質問にお答えいたします。

庁舎建て替えに当たり、施設の規模や取り入れる機能などにつきましては、今後検討していきますことから、現段階では財源の構成をはじめ、確保すべき一般財源を見通すことは困難な状況でございます。

しかしながら、庁舎建設においては、多大な事業費とそれに見合う一般財源の用意が必要であります

ことから、基金に一定の額を積み立て、将来にわたる負担軽減を図ることが必要と考えております。令和5年度に向けまして、財政再生計画に大きな影響を与えないよう、積み立てる額や期間などについて、国及び北海道と十分に協議を進めて参りたいと考えております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 今川議員、再質問ありませんか。

今川議員。

●今川和哉君 令和5年度から基金に一定の額を積み立てたいということで、予算が絡む問題ですので、財政再生団体である当市は国や道との調整も必要かと思いますが、やはり前の答弁でもあった耐震性と災害への危険度の問題、これが喫緊の課題かと思っておりますので、職員と市民の命がかかっているということ国や道にもご理解いただき、進めていただかなければならないものと思います。この点については、国や道との交渉においてしっかり伝えていただきたく、お願いいたします。

続いて、最後、4点目として、庁舎の複合化の観点について質問いたします。

庁舎建て替えにおいて、庁舎単体だけでなく老朽化しているほかの公共施設との複合化や民間との連携で利便性向上や財政負担の軽減が図られると考えます。例えば、東京都の豊島区役所は総事業費435億円について、官民連携の取組により10階建ての庁舎の上に11階から49階まで分譲マンションを建設することでその販売収入と国からの補助金、旧庁舎跡地の賃貸料で全て充当し、税金を使わずに実質0円の庁舎として建設されています。当然、これらは資産価値の高い大都市自治体の例であり、そのままねすることは到底できませんが、民間との連携を図り、住民負担を軽減するという視点は、当市のような小規模自治体においても考慮していかなければならないものではないでしょうか。

つきましては、市役所本庁舎の複合化や建設における民間との連携について、市長の考えを伺います。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 今川議員の庁舎の複合化や民間連携に関するご質問にお答えいたします。

庁舎の建て替えにつきましては、市政懇談会で市民の皆様のご意見をいただいた上で、外部検討委員会を立ち上げて整備手法についてご審議いただくように考えております。施設の複合化による利便性の向上や維持経費の軽減についての検討は必要だと思いますが、まずは清水沢地区への建て替えについて、市民の皆様のご理解を得たいと、そのように考えております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 今川議員、再質問ありませんか。

今川議員。

●今川和哉君 複合化の観点についての再質問となりますが、市内には、国や道の出先機関、例えば、ハローワークや警察庁舎、裁判所等が現在あるところですが、設計や計画に入る前の段階にて、こういった市内に事業所を有する各機関への意向を調査するというをやってもよいのではないかと考えるところですが、この点はいかがでしょうか。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 今川議員の再質問にお答えいたします。

その調査の必要性というところについては理解するところではございますが、繰り返しの答弁になりますけれども、まず、手順といたしまして、清水沢地区への建て替えについて、市民の皆様のご理解を得た上で整備方針を取りまとめていきたいと、そのように考えておりますので、ご理解をいただきたいと存じます。

●議長 大山修二君 今川議員、再質問ありませんか。

今川議員。

●今川和哉君 再質問ではございませんが、この夕張市だけでなく、国全体として人口減少や超高齢化社会が進む中、中心市街地の衰退、市街地の拡散、

空き家の増加、公共交通の衰退などによる都市の空洞化や過去に整備された多くの道路やインフラの老朽化に伴う維持管理への対応など、様々な課題があらゆる自治体で顕在化しています。こういった全国の課題に夕張市の取組がモデルケースとなれるよう、今後とも議会とともに積極的かつ効果的に施策を進めていくことをお願い申し上げまして、私の質問を終了いたします。

●議長 大山修二君 以上で、今川議員の質問を終わります。

次に、千葉議員の質問を許します。

千葉議員。

●千葉 勝君（登壇） 千葉勝です。

通告に従いまして、2件8点について大綱質問します。

最初に、市政執行方針の夕張独自の教育環境づくりの推進の高校魅力化事業のさらなる充実と高校存続のための新たな施策について、お伺いします。

夕張高校の魅力化事業について、市長就任後の所信表明で夕張高校の魅力が高まっていくように独自の取組の充実を図るため必要な支援を行って参りますと表明し、この間施策を進めてきたと認識しています。令和4年度の夕張中学校から夕張高校への受験生が19名となり、2年連続で20人未満となる予定であります。3月9日の令和4年度市政執行方針で高校魅力化事業のさらなる充実と高校存続のための新たな施策として入学支度金の内容を拡充し、新入学生がタブレット端末を購入する場合の助成と高校存続に向けた新たな取組として夕張ならではの地域課題を組み入れたカリキュラムを策定し、地元進学率の向上のほか、市外からの生徒受入れについて検討を開始するとの方針であります。

そこで、最初に、令和4年度から入学支度金の内容を拡充し、新入学生がタブレット端末を購入する場合に助成することですが、夕張高校生一人に対して1台のタブレット端末を貸与している現状で、購入する場合は、助成するとの選択肢を加える必要性がなぜあるのか。その理由について、市長にお伺

いたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 千葉議員の夕張高校生のタブレット端末購入に対する助成に関するご質問についてお答えいたします。

タブレット端末につきましては、現在小中高で実施しているマンツーマンオンライン英会話等に用いるため市から夕張高校に通う生徒に貸与しておりますが、一部端末は耐用年数の関係でバッテリーの消耗やWi-Fi接続状況に支障が生じている状況でございます。

一方、文部科学省が定めるGIGAスクール構想に基づきまして、北海道では令和4年度から高等学校においても一人1台タブレット端末整備を進めると承知をしております。この費用負担についてでございますが、道教委の方針としては、保護者負担を原則としておりますが、道内でも高校ごとで端末の使用や説明にばらつきがありますことから、保護者の理解が十分に進んでいない状況と伺っております。こうしたことから、本市といたしましても、タブレット端末に係る家計の負担を軽減することが必要であると判断したこと、それから道教委としてBYODというふうに言われております、Bring Your Own Device、いわゆる個人が所有する端末、私物でございますが、タブレット端末を学校に持ち込んで使用することを推進していること、さらに貸与するための端末管理の負担など、総合的に考慮いたしまして、購入に対する助成を入学支度金に加えたものでございます。

以上でございます。

●議長 大山修二君 千葉議員、再質問ありませんか。

千葉議員。

●千葉 勝君 道教委の方針を受けて保護者負担の軽減等を図るために補助をするという答弁だったと思います。今後についてもよろしくお伺いしたいと思います。

次に、高校存続に向けた新たな取組として夕張な

らではの地域課題を組み入れたカリキュラムを高校とともに策定するという方針ですが、どのようなスキームを考えているのかについて、お伺いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 千葉議員の夕張ならではの地域課題を組み入れたカリキュラムに関するご質問についてお答えいたします。

生徒確保に向けましては、夕張高校ならではの魅力的なカリキュラム策定は必須と考えておりまして、カリキュラムの具体的な内容やスキームにつきましては、今後高校と協議を重ねて決めていくこととしております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 千葉議員、再質問ありませんか。

千葉議員。

●千葉 勝君 生徒確保のために、今後内容やスキーム等については、高校と協議を進めていくという答弁だと思うのですが、早急に進めていかないと市外から来る生徒並びに市外に出ていく生徒に対する夕張高校へ入っていただくという、そういうあれがないと思いますので、早急な検討をよろしくお願ひしたいと思ひます。

次に、この具体的なカリキュラムの内容は今後協議するということですが、策定した後に学校現場で実践していくには、多分に予算も必要かなと考えます。

そこで、実践していくための予算等についてその協議の中で検討されるのかどうかについて、市長にお伺いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 千葉議員の再質問についてお答えいたします。

カリキュラム策定後の実施に当たりましては、既存の予算の活用によって実施できる場合もあると考えておりますけれども、新たな事業の実施ということになりますれば、必要な予算の確保に努めて参り

たいと考えております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 千葉議員、再質問ありませんか。

千葉議員。

●千葉 勝君 高校現場でこれを実践していくために予算がないということのないように、ぜひお願いいたします。

次に、3点目ですけれども、夕張高校への地元からの進学率の向上について、第2期夕張市地方版総合戦略の数値目標で、令和6年度までに地元進学率70%としていますが、先日の夕張高校の受験状況を見ると、令和4年度での目標達成は厳しい状況と思われまふ。そこで、地元進学率の数値目標達成のために地元ではなく市外への高校を選択している理由をどのように分析しているのか、お伺いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 千葉議員の市外の高校を選択している理由の分析に関するご質問についてお答えいたします。

議員ご指摘のとおり、先日実施されました夕張高校の入学試験の受験者はこれは18名になるのですね。18名と聞いておりまして、12名が市外の高校を受験している状況でございます。

夕張高校を選択しない理由といたしましては、第2期地方版総合戦略策定に当たりまして、令和元年12月に実施をした中学生アンケートによりますと、高校卒業後の大学進学や就職先の希望進路の実現が難しいから。新たな友人関係を築きたいから。サッカーなどのチームスポーツに係る部活動が満足に行えないと思うからという回答が多くなっておりまして、現在もその傾向は続いているものと考えております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 千葉議員、再質問ありませんか。

千葉議員。

●千葉 勝君 そういう生徒に対して夕張高校を

選択しないで、市外の高校を選択した生徒に対して、今後どのような対策を行うべきと考えているのか、市長の見解をお伺いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 千葉議員の再質問についてお答えいたします。

できる限り多くの生徒が夕張高校に進学をしてもらう。そのためには、早い段階で一人一人の生徒の希望を把握をすること。それから、夕張高校をはじめといたしました関係者の皆様とともに、そのご希望にどれだけ歩み寄れるか。一緒になって努力して参りたいと考えております。

例えば、同じ普通科で大学進学を目指す生徒さんに対しましては、小規模校ならではのきめ細やかな学習指導でありますとか、公設塾「キセキノ」による学習サポート環境があること。また、大学進学以外でも就職や専門学校など希望進路の実現のための環境が夕張高校にあること。ここを積極的にPRして参りたいと考えております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 千葉議員、再質問ありませんか。

千葉議員。

●千葉 勝君 早い段階で希望を把握していきたいという、そういうような答弁であったと思うのですが、そのためには高校魅力化の発信についてお伺いしたいのですが、中学生が進路先を決めるのは、中学3年生の早い時期に進路先を決め、それ以降はあまり進路変更をするのではないかと聞いておりますが、小学校高学年や中学校1年生の早い時期から高校の魅力発信することが重要と私は考えますけれども、市長の見解をお伺いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 千葉議員の再質問についてお答えいたします。

進路決定のプロセスと申しますか、時期につきましては議員のほうからお話ありましたような内容につきまして、私も意見交換の中でそのような現

状であるということをお聞きしております。

その上で、生徒の進路希望、やはりこれは思った以上に早く、それに向けた情報配信というのは非常に重要であると認識しております。

そのためでございますが、生徒の進路選択につながります情報配信、それから説明会につきましては、小・中学校の早い段階からあらゆる機会を通じて直接ご説明に伺うなど、積極的に実施して参りたいと考えております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 千葉議員、再質問ありませんか。

千葉議員。

●千葉 勝君 その点については、よろしくお伺いいたします。

次に、市外からの生徒の受入れについて、お伺いいたします。

夕張高校への市外からの生徒の受入れについて検討を開始するとのことですが、令和2年第1回定例大綱質問で市長は関係する方々と幅広く議論をして参りたいと考えていますとの答弁をしております。これまでどのような議論をしてきたのかについて、お伺いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 千葉議員の市外からの生徒受入れに関するこれまでの議論に関するご質問についてお答えいたします。

令和2年度以降、夕張高校魅力化プロジェクトの取組を効果的に促進していくため、中学、高校関係者や保護者等で構成をいたします、意見交換会を5回、夕張高校や夕張市の取組に対する理解を深め、進路選択の参考にしていただくとともに、地域として高校を守り、支えていく機運の醸成につなげていくため、小・中学校教諭、中学生、その保護者などを対象といたしました、夕張高校魅力化の取組説明会を2回開催したところでございます。出席いただいた方からは、共通しまして、市外から通える交通手段の整備や市外からの生徒受入れ体制整備の必要

性に関するご意見をいただいているところでございます。

以上でございます。

●議長 大山修二君 千葉議員、再質問ありませんか。

千葉議員。

●千葉 勝君 意見交換会等々の中で交通の手段等についてのご意見も出されたということなのですが、現状のバスダイヤでは市外からの生徒は通学できないと私は考えます。

そこで、市外からの生徒を受け入れるには交通問題、寮や下宿などの様々な内容について議論する必要がありますと考えますが、市長の見解をお伺いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 千葉議員の再質問についてお答えいたします。

現在の市内小・中学生の児童生徒数の推移から鑑みますと、高校の存続に関して道教委から示されている20人の生徒確保は地元の進学率向上だけでは困難であると考えております。そのため、市外からの生徒受入れにつきましては、下宿、寮、市外からの通学などあらゆる可能性を排除せず、議論を重ねて参ります。

なお、議論の実施に当たりましては、高校魅力化事業の本質を振り返り、市外の生徒も行きたくなる、市内の生徒も通いたくなる学校にするべく、まずは魅力あるカリキュラム作成について、高校をはじめといたしました関係者と力を注いで参りたいと考えております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 千葉議員、再質問ありませんか。

千葉議員。

●千葉 勝君 夕張高校の存続は、子育て世代の流出防止や地域の活性化の観点からも夕張市の重要施策と位置づけられておりますし、令和3年第4回定例会一般質問でこのように答弁しております。

そこで、夕張高校がなくなった場合の地域に与える影響をどのように考え、今後どのように夕張高校魅力化事業に取り組んでいくのか、市長の考えをお伺いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 千葉議員の再質問についてお答えいたします。

ただいま夕張市から高校がなくなった場合という、仮の想定に関するご質問でございますが、市といたしましては、現在2年連続で入学者数が20名を下回る見込みとなっている状況を踏まえまして、北海道教育庁に対して、再編整備の留保に向けた協議を進めていただくための書類を提出し、高校存続に向けた意思を示したところでございます。夕張高校の存続は、将来における夕張市の存続、これを左右する問題でもあると考えておりまして、今後庁内においては対策本部を設置するなど、全庁的な検討体制を整え、庁外においては高校関係者のみならず、小・中学校、地域の皆様、民間企業も含めた教育関係者のご意見を伺うなど、ありとあらゆる手段を使って高校を存続させる手法を模索して参ります。

そのため、私が先頭に立ってリーダーシップを取り、地元進学率向上のみならず、市外の生徒も通いたくなるような魅力的な高校にするため力を尽くして参ります。

以上でございます。

●議長 大山修二君 千葉議員、再質問ありませんか。

千葉議員。

●千葉 勝君 市長のリーダーシップをよろしくお願ひしたいと思います。子どもたちにとって魅力ある高校とは、子どもたち自身の将来の夢や希望を実現させてくれる学校ではないかと私は考えます。高校がなくなると、子育て世代が夕張に住むメリットがなくなり、市外への転出を考え、人口減少が加速すると考えます。高校存続には、義務教育段階から高校へとつなぐ一連の支援が必要と考えますので、その点についてもよろしくお願ひ申し上げます。

続いて、よろしいですか。

●議長 大山修二君 はい、どうぞ。

●千葉 勝君 続きまして、2件目の行政執行体制の確保について、ご質問いたします。

厚谷市長は、2019年に市長に立候補するに当たり、夕張市の再生へのキーワードとして財政の自立、行政の自立、市民との協働を、市民と約束をしました。市長就任後の所信表明で、全国都市最低水準にある職員数の見直しと職員給与の改善について必要な見直しを行うべく、検討を急いで参りますと表明し、この間市政執行に当たられ、令和3年度の国、道との協議において、令和4年度に採用する職員数の増、派遣職員の段階的な切替えが認められましたとのことですが、この間職員の普通退職、いわゆる中途退職が毎年度数名出ていて、市長は執行体制確保の面からも課題であると感じておりますと議会で答弁しております。

そこで、市長任期最終年度であります令和4年度における行政執行体制の確保について、お伺いいたします。

まず最初に、国、道との協議が認められた令和4年度に採用する職員の増について、令和3年度末に想定していない普通退職者が数名いるが、令和4年度の行政執行体制と職員採用計画について、どのような影響があるのか、お伺いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 千葉議員の普通退職者の令和4年度における体制への影響に関するご質問にお答えいたします。

市政執行方針の中でも触れましたが、行政執行体制確保のため、職員数総体の増員を目指し、これまで国、北海道と協議を重ねて参りましたが、令和4年4月の消防職員以外の採用者数につきまして、財政再生計画に計上された2名を8名にまで増員することが令和3年度の協議において認められたところでございます。

しかしながら、当初想定していなかった普通退職者が令和3年度において複数名発生をいたしました

ことから、増員となった採用者数8名を加えた上でも令和4年4月におけるプロパー職員、再任用職員、北海道からの派遣職員の合計は、前年同時期と同数となったところでございます。

結果といたしまして、4年度当初において職員の増員とはなりませんでしたが、知識と経験が豊富な再任用職員が増加となりますことから、日常の業務に加えまして若手職員の育成などに持てる能力を発揮していただき、体制の活性化が図れることを期待しております。

なお、普通退職によって生じた欠員の補充を行うため、令和5年4月における採用者数の上乘せを行いますほか、一部を令和4年度内に中途採用すべく、検討しているところでございます。

以上でございます。

●議長 大山修二君 千葉議員、再質問ありませんか。

千葉議員。

●千葉 勝君 普通退職者の不足分等については、一部、令和4年度の中途採用をしていきたいという考えでありますので、早急にその考えで進んでいただければと思いますので、よろしくお伺いいたします。

次に、国、道との協議で認められた派遣職員の段階的切替えについて、派遣職員からプロパー職員への切替スケジュールと財源の見通しについて、お伺いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 千葉議員の派遣職員の段階的切替えに関するご質問にお答えいたします。

平成28年度に行った財政再生計画の抜本的な見直しにおきまして、再生振替特例債の償還が完了する令和8年度末までの間、北海道から12名の職員派遣を受け、令和9年度に4名に減員するとしてところでございます。

しかしながら、派遣職員8名を一度にプロパー職員に切り替えるということは行政の継続性、そして職員育成の面からも困難であると考えことから、

この点においても改善を図るべく、国、道と協議を行って参りました。

結果、激変とならぬよう、令和6年4月から段階的に毎年度2名ずつを派遣職員からプロパー職員に切り替えることについて国、道から理解を得ることができました。

なお、プロパー職員への切替えに要する財源でございますが、これまで年度終了後の決算剰余金を財政調整基金に積み立てておりますが、そのうち財政再生計画の抜本的見直し以降の人件費にかかる決算剰余分を用いることとしております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 千葉議員、再質問ありませんか。

千葉議員。

●千葉 勝君 6年4月から毎年2名ずつ切り替えていくという答弁なのですが、その切替えに必要な財源はお幾らぐらいなのか、分かれば教えていただきたいのですけれども。

●議長 大山修二君 芝木課長。

●総務課長 芝木誠二君 千葉議員の再質問にお答えします。

令和6年4月から段階的に2名ずつ派遣職員をプロパー職員に切り替える経費でございますが、延べ人数として12名、約5,500万円がかかるということで算定しております。

以上です。

●議長 大山修二君 千葉議員、再質問ありませんか。

千葉議員。

●千葉 勝君 では、次に移らせていただきます。

安定的な組織体制確保のため、職員数のさらなる協議と採用計画を進めるとありますが、安定的な組織体制を確保するためには職員数の議論と同時に、業務の効率化も進めていかなければならないと考えますが、市長の考えをお伺いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 千葉議員の業務の効率化に

関する所見に関してのご質問にお答えいたします。

千葉議員のご質問にありまして、私も安定的な行政の運営を図るために業務の効率化、これは欠かせないものであると捉えております。効率化の事例の一つといたしまして、市有施設の管理におきましては、直近で文化スポーツセンター等の体育施設や市営住宅等を直営から指定管理に変更したところでございますが、今後においても外部委託が可能なものについては、その検討を進める必要があると考えております。

また、業務の電算化におきましては、ウィズコロナの時代における業務の在り方として、テレワークの運用試験、これを本市でも行っているところでございまして、職員が自宅待機となっても業務が後退しないような機材等の整備を図っているところでございます。北見市ですとか、岩見沢市におけるITを活用した「書かない窓口」の報道がされておりますが、当市におきましても電算システムは、既に行政運営に欠くことができないものとなっております。さらなる効率化と市民サービス向上のため、時代と市民ニーズに適合したものを随時取り入れていくべく、情報収集と研究に努めて参る所存でございます。

以上でございます。

●議長 大山修二君 千葉議員、再質問ありませんか。

千葉議員。

●千葉 勝君 安定的な組織体制を確保するためにも業務の効率化についてもご検討を、今後ともよろしく願いいたします。

最後に、現在一律7%削減している職員給与改善を国、道と協議を継続して目指すとしていますが、いまだ改善の見通しは示されておられません。財政再生計画と財源確保が課題であることは理解しますが、ここまで協議が進んでこなかった要因を、市長はどのように分析しているのか、お伺いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 千葉議員の職員給与の改善に関するご質問にお答えいたします。

財政の再建及び再生振替特例債償還財源捻出の一助とするため、本市職員の給与については、これまで大幅な削減をして参りました。その上で、平成28年度に実施した財政再生計画の抜本の見直し以降、職員の給料につきましては平成29年度に一律9%の削減、平成30年度からは7%の削減まで改善したところでございます。それ以降、職員給料の改善はなされていない状況でございますが、この間においても改善すべき事項として国・道と課題を共有して参りました。

その上で、千葉議員のご質問に対しましては、人事院勧告による公務員の期末手当支給率の削減、これが昨年、一昨年と2年連続で発出されるなど、コロナ禍におきまして公務員を取り巻く環境が全国的に厳しいものとなっていったこと。それから、市民生活や地域再生に多くの財政需要がある中で給料改善に要する財源を中長期的に確保することが難しかったことなどが大きな要因と考えております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 千葉議員、再質問ありませんか。

千葉議員。

●千葉 勝君 この間国と道と課題を共有してきて取り組んできたとの答弁ですけれども、この給与改善は、市長の本気度が私は問われる問題だと考えております。職員給与7%の削減は現職である期間のみに影響を受けるものではなく、職員の退職後の年金の支給額算定にも大きな影響を受けるものがあります。こうした職員の将来不安を払拭できないような環境は改善しなければならないと私は考えます。

また、若手職員の早期退職者を出さないためにも国、道との協議を進め、職員給与7%削減を任期最後の今年度で改善する道筋を明確にする決意を市長にお伺いいたします。

●議長 大山修二君 厚谷市長。

●市長 厚谷 司君 千葉議員の再質問にお答えいたします。

職員給料改善に向けた私の考えということでござ

いますが、再生振替特例債償還の完了が近づいた今、今日、職員の給料がこのままの状態であればよしとは決して私も考えておりません。市民サービスのために日々奮闘していただいております職員に報いるべく、私が先頭に立って、国、道に職員給料の改善を強く訴え、財政再生計画の変更同意を得たいと、そのように考えております。

以上でございます。

●議長 大山修二君 千葉議員、再質問ありませんか。

千葉議員。

●千葉 勝君 市長のご決意をよろしくお願い申し上げます。

●議長 大山修二君 以上で、千葉議員の質問を終わります。

●議長 大山修二君 お諮りいたします。

本日の会議はこの程度にとどめ、延会したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。

したがって、本日はこれで延会することに決定いたしました。

本日はこれで延会いたします。

午前 11時34分 延会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

夕張市議会 議長 大山 修 二

夕張市議会 議員 今川 和 哉

夕張市議会 議員 君島 孝 夫